

## キノコ研究、自然考える

11月に東京都内で開かれた文化センター(同市西町)の「ジュニアドクター育成塾サイエンスカンファレンス」で、松江市立八雲中2年の石倉さん(13)の研究発表「キノコの生命力の探求 パート1」が特別賞(チャレンジ賞)を受賞した。研究には米子市児童



米子市児童文化センターに寄贈された走査電子顕微鏡を活用し、キノコの研究に取り組む石倉さん

## ジュニアドクター育成塾サイエンスカンファレンス 石倉さん 松江・八雲中 特別賞

し、ポスター発表を行った。石倉さんは鳥取大の環境探求プログラム「きのこコース」を受講しており、研究テーマとしてキノコの生命力に着目。「電子顕微鏡のまち・米子市」推進協力会の支援も得て、胞子の形状や培養した菌糸の伸び方を走査電子顕微鏡で観察した。「調べたいものを詳しく調べることができ、研究内容が大きく変化した」という。

キノコの研究や身近な自然、小学生の頃から続けている能楽などを通して、人間と自然の関わりについて考えている石倉さん。外務省などが主催する「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」では「能楽とキノコで森を再生する」という作品で外務大臣賞を受賞した。

「人間と自然の共生が、これからの地球に一番必要なこと。キノコは未知の領域も多く、今後いろいろな研究をやってみたい」と、目を輝かせる。

(今井理恵子)

## 米子の走査電子顕微鏡を活用